

都市再生整備計画 (第1回変更)

かわべこがんちく
川辺湖岸地区

ぎふけん かわべちょう
岐阜県 川辺町

平成24年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	岐阜県	市町村名	川辺町	地区名	川辺湖岸地区	面積	260 ha
計画期間	平成23年度	～	平成27年度	交付期間	平成23年度	～	平成27年度

目標

大目標:住み続けたい 訪れたい 川辺湖岸のまちづくり

○目標1:道路や公園などの公共公益施設の充実による快適な生活空間づくり

○目標2:ダム湖を活かした健康と交流の拠点づくり

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

○本地区の特徴

・本地区は、米田富士などの山々による豊かな自然を背景とし、飛騨川とJR高山線に挟まれた市街地とその周辺の農地・集落の区域内である。

・中部北陸自然歩道(岐阜県自然公園等整備促進協会)が、川辺ダム湖を中心として地区内のやすらぎの家やかわべ夢広場・東光寺公園等の主要な施設を通過するように設定されている。

・本町の中心を流れる飛騨川は、かつて飛騨山中の木材輸送で栄えた歴史を持ち、川辺ダムが建設された後にはボート競技に適したダム湖として親しまれ、全国でも有数のボート競技場となっている。

・本地区内には県川辺漕艇場が位置し、平成24年には岐阜県で行われる第67回国民体育大会「ぎふ清流国体」のボート競技会場とされている。

○まちづくりの現況

・平成21年3月に国道41号美濃加茂バイパスが開通し、それに伴い川辺石神IC・川辺鹿塩ICが供用開始するなど、町外から本地区へのアクセス利便性が向上している。また、町道とのアクセス強化のため、バイパス周辺の道路整備を進めている。

・本地区の市街地(東光寺地区周辺)は、都市的な未利用地や狭隘な生活道路が多い状況にある。そのため、地区住民によりまちづくりに関する勉強会が開催されるなど、今後のまちづくりに向けた活動が始まりつつある。

・飛騨川の左岸を左岸緑地、右岸を川辺湖岸緑地として都市計画決定し、両岸を遊歩道として整備済みである。このうち川辺湖岸緑地にある「かわべ夢広場」については、小中学生に対するアンケート調査を実施するなど、今後の施設リニューアルに向けた住民意向把握を実施している。また、かわべ夢広場は、福祉施設「やすらぎの家」に隣接している。東光寺公園については、遊具が少ないとの住民の意見があり、アンケート調査を実施している。

・平成21年3月より美濃加茂市を中心とした周辺7市町村による「定住自立圏構想」を立案し、人口定着と交流人口の創出に向けた美濃加茂市との協定締結を平成22年9月に締結した。

課題

・国道41号美濃加茂バイパスの開通により、本町を通過する交通の増大が予想され、単に通過するのではなく、バイパス開通を契機とし、本町への来訪者の呼び込みを行い交流人口の増加を行っていく必要がある。

・バイパスや川辺石神IC・川辺鹿塩ICの整備に伴い、市街地等とのアクセス性を向上するため、道路整備が必要となっている。

・平成24年の国体を契機とし、来訪者を迎えるための町の顔となる空間整備や市街地への円滑な誘導が必要となっている。

・飛騨川両岸の遊歩道は町民の日常的なウォーキングに利用されている。特に、右岸の「かわべ夢広場」は、ボート競技大会や町内の花火大会の会場となる一方、既設のパターゴルフ場が町民のニーズに適しておらず、利用者が減少傾向にある。そのため、人々が集うことができる貴重な水際のオープンスペースとして、施設のリニューアルを行うとともにその有効活用が必要となっている。また、川辺湖岸緑地に隣接して福祉施設である「やすらぎの家」が立地するなど、福祉の面からも重要な場所となっており、高齢者の健康づくりと合わせた緑地の再整備が必要となっている。また東光寺公園には遊具が少なく、施設利用者の満足が得られておらず、遊具設置の要望が強い。

・川辺町中央公民館は地域活動や多世代が交流するための施設であるが、今後更に利便性をもたせるため、音響設備などのグレードアップなどが必要となっている。

・市街地には道路や公園が不足し、未利用地が点在する状況にあるため、計画的な都市基盤整備が必要となっている。

将来ビジョン(中長期)

・川辺町第4次総合計画(平成19年策定)では、人口を平成17年10,838人に対し、目標年次(平成24年)に10,500人としており、若干の減少を許容するがおおよそ現状のままで維持することを目標としている。

・総合計画ではテーマを「美しく輝く 水辺と心を育むまち」とし、「安心して健康に暮らせる環境を整える」ことを基本理念の1つとして定め、重点プロジェクトとして観光の振興や観光拠点への来外者の効果的な誘導を図る観光サインの整備等を位置づけている。また、国道・県道へアクセスする町道の整備を位置づけている。

・都市計画区域マスタープランでは、川辺町役場周辺の未利用地や狭隘な生活道路を抱える地域において、土地区画整理事業等により都市基盤整備を進めることにより住みやすい住環境の形成を図ること目指している。

目標を定量化する指標

指 標		単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
生活道路や歩道の整備に関する満足度		%	住民意識調査における生活道路や歩道の整備に関する質問に対して「満足・やや満足」と回答する人の割合の向上	住み心地に対して、地区内の町民の42%程度が満足する環境を目指す。	40.3%	平成19年度	42%	平成27年度
飛騨川散策路の歩行者数		人	事業前後の飛騨川散策路における歩行者数の増減比較	かわべ夢広場や飛騨川散策路の利用者増大を目指す。	94人	平成22年度	104人	平成27年度
中央公民館ホールの利用回数		回	中央公民館大ホールの利用回数の増減比較	中央公民館大ホールの音響設備を改修することにより、利用回数の増大を目指す。	53回	平成21年度	58回	平成27年度
東光寺公園の満足度		%	東光寺公園における満足度の質問に対して「大変満足・満足・普通」と回答する人の割合の向上	東光寺公園に遊具を設置することにより、公共・交流施設に対する満足する環境を目指す。	36.6%	平成23年度	41%	平成27年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
計画区域の整備方針	整備方針1:道路や公園などの公共公益施設の充実による快適な生活空間づくり	●基幹事業 町道下川辺石神線(道路) ●基幹事業 町道祖宮神線(道路) ●基幹事業 町道仲溝1号線(道路) ●基幹事業 町道仲坪線(道路) ●基幹事業 東光寺公園(公園) □関連事業 東光寺地区まちづくり勉強会(まちづくり活動推進事業) □関連事業 庁舎防災対策
	整備方針2:ダム湖を活かした健康と交流の拠点づくり	●基幹事業 かわべ夢広場(地域生活基盤施設) ●基幹事業 公共サイン(地域生活基盤施設) ○提案事業 公民館音響改修(地域創造支援事業) □関連事業 国体及び関連事業
その他		

変更後

(金額の単位は百万円)

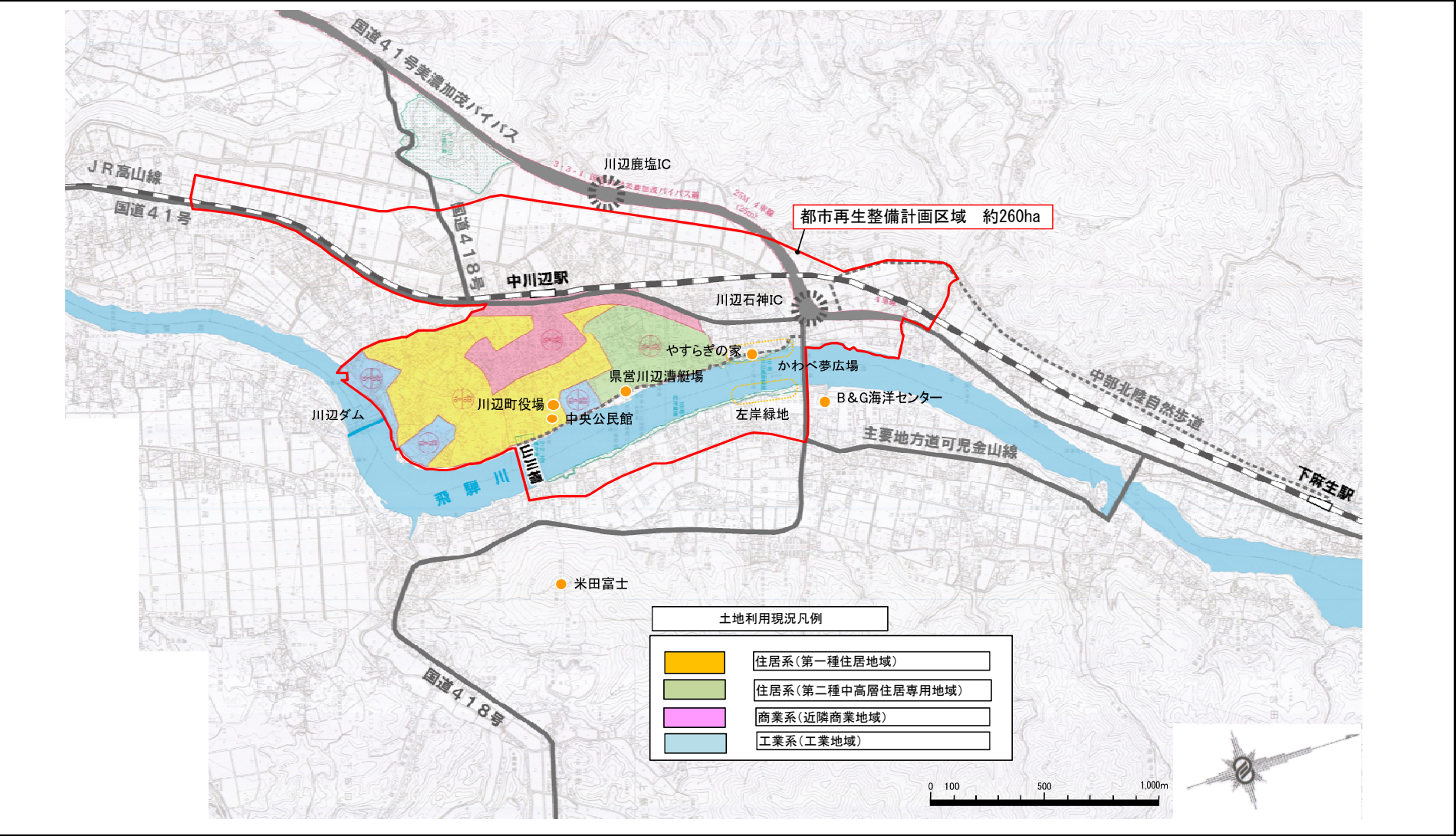
3...A

合計(A+B)	501
---------	-----

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費
					直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度	
国体及び関連事業	-	川辺町		-			○		H23	H24	15
庁舎防災対策	川辺町役場庁舎	川辺町		延床面積3,149㎡			○		H25	H26	3
東光寺地区まちづくり勉強会 合社		川辺町		A = 6.5ha			○		H23	H23	18

都市再生整備計画の区域

川辺湖岸地区(岐阜県川辺町)	面積	260 ha	区域	岐阜県川辺町大字中川辺、西栃井、石神、下川辺、比久見、福島の一部
----------------	----	--------	----	----------------------------------



川辺湖岸地区(岐阜県川辺町) 整備方針概要図

目標	住み続けたい 訪れたい 川辺湖岸のまちづくり	代表的な指標	生活道路や歩道の整備に関する満足度 (%)	40.3	(19年度)	→	42.0	(27年度)
	○目標1: 道路や公園などの公共公益施設の充実による快適な生活空間づくり		飛騨川散策路の歩行者数 (人)	94	(22年度)	→	104	(27年度)
	○目標2: ダム湖を活かした健康と交流の拠点づくり		中央公民館ホールの利用回数 (回)	53	(21年度)	→	58	(27年度)
			東光寺公園の満足度 (%)	36.6	(23年度)	→	41.0	(27年度)

